

令和4年度
学校関係者評価結果報告書

令和5年6月10日

学校法人西田学園
アルファ医療福祉専門学校

学校関係者評価委員会報告書

学校法人西田学園 アルファ医療福祉専門学校は、令和5年6月8日に「令和4年度 学校自己評価表」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

令和5年6月10日作成
学校法人西田学園
アルファ医療福祉専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員出席者 定員6名

- (1) 榎本 耕（社会福祉法人桐仁会 かえで園施設長）
- (2) 小磯 英次（社会福祉法人たけのうち福祉会理事長）
- (3) 榊原 直哉（社会福祉法人福愛会 藤井保育園園長）
- (4) 柁屋 富治郎（町田市接骨師会会長）
- (5) 松坂 健志（社会福祉法人東の会みたけ施設長）

学内出席者3名

- (1) 瀧 将仁（校長）
- (2) 山根 満（教務課課長）
- (3) 林 希美（教務課）

3. 会議の概要

(1) 校長挨拶

開会挨拶の後、職業実践専門課程及び学校関係者評価委員会についての概要、趣旨説明。

(2) 出席委員紹介

(3) 学内出席者紹介

(4) 本校概要説明

本校の沿革、学科、生徒数、就職状況等について説明。

(5) 令和4年度自己評価結果について

自己点検・自己評価報告書をもとに、項目ごとの自己評価、課題、改善策について説明をした後、出席委員との意見交換、質疑応答が行われた。

4. 学校関係者評価結果

大項目	学校関係者評価
基準1 教育理念	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：学校の将来構想や「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「アドミッション・ポリシー」の周知はされているが、学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想等の周知は十分とは言えない。</p> <p>改善策：学校の将来構想が社会経済のニーズに合っているかについては、外部委員の意見を取り入れ、修正を図っていく。教育理念等の周知については、保護者会、配布物、インターネット等だけでなく、教職員による周知の機会も増やしていく。</p>
基準2 学校運営	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：情報システム化等の業務効率については、かなり改善がされてきているが、更なる改善が必要であると考えている。</p> <p>改善策：令和5年度より新たな教務システムの導入を行うため、その機能を十分に活用し、業務の効率化を促進していく。</p>
基準3 教育活動	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：教職員の資質向上を図るため、校内での研修及び外部機関での研修を実施しているが、社会情勢の変化に対応できる教職員としての質の向上を図る必要がある。</p> <p>改善策：教員の研修では、専門領域の知識・技術の習得のみならず、学生指導についての指導方法についても強化していく必要がある。</p>
基準4 学修成果	<p>評価：やや不適切</p> <p>課題：令和4年度の退学者数は前年に比べて増加しており、退学者数を低減させるために更なる対応策が必要である。</p> <p>改善策：令和5年度から、学習支援課を新設し、学力の向上、学力不振者への対応を強化し、退学者数の低減に努めていく。</p>
基準5 学生支援	<p>評価：適切である</p> <p>課題：保護者との連携は三者面談だけでは十分と言えず、学校生活での情報共有のあり方には課題がある。</p> <p>改善策：令和5年度は、保護者と連携する新たな仕組みを導入し、情報共有を進めながら適切な連携を図っていく。</p>
基準6 教育環境	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：防災に対する意識を、学生・教職員に向けてどのように高め</p>

	<p>ていくかについて課題がある。</p> <p>改善策：防災マニュアルの周知と防災訓練の実施により、意識向上を図っていく。</p>
<p>基準7 学生募集と 受け入れ</p>	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：学生募集に際しては、他校の状況を調査した上で、学納金の妥当性を判断している。</p> <p>改善策：他校の状況と教育運営経費を精査した上で、学費の設定を適時見直しをしていく。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：財務基盤の安定化には、安定した入学者の確保だけでなく、退学者の抑制を図ることが重要である。加えて、経費の見直しや業務効率化による経費削減に努めていく必要がある。</p> <p>改善策：入学者の安定的な確保とともに退学者抑制を図ることで、財政基盤の安定を目指していく。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：学校ホームページにて教育活動等の掲載をしているが、情報公開の掲載方法には検討の余地がある。</p> <p>改善策：教育情報の公開は実施できているが、学生および保護者等が望む公開内容であるかについては再検討していく。</p>
<p>基準10 社会貢献</p>	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：ボランティア参加は将来の就業にも有益であると考えているが、学校としてボランティア参加に対する評価と支援する仕組みづくりには課題がある。</p> <p>改善策：学校としてボランティア参加に対する評価と支援する仕組みづくりについて、関係機関や対象施設と協議を図っていく。</p>

4. 学校関係者評価 総括と課題について

項目	評価・意見
自己評価結果についての 全体的な評価・意見等	<p>退学者数の低減については、効率の良い学習方法の提示など、学力不振者へのより一層の取り組みが必要である。他の小項目において不適切であった項目に対しては、改善に努めていただきたい。また、学外の学びや知見を広げるために、ボランティアへの参加を促進していただきたい。ボランティアへの参加を単位認定化するなど、参加しやすい環境整備を行っていただきたい。卒業生との連携を図るため、卒後研修の実施や同窓会と連携したイベントの実施を行うなど、在学生のみならず卒業生との関係構築を今後の課題として取り組んでいきたい。令和4年度の評価としては全体を通して高い評価だが、より良い教育を推進していくために、努力を期待します。</p>